

市長総括説明から

9月1日、平成20年度第3回市議会定例会が開会しました。

はじめに、中貝市長から歴史・伝統を活かした施設竣工について報告し、続いて、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明をしました。

安全に安心して暮らせるまち

稲葉川土地区画整理事業

6月13日、稲葉川土地区画整理審議会を設置し、本年度末の仮換地指定を目指し、河川用地取得議案を提出しています。また、物件の移転補償交渉については、鋭意交渉を進めています。

常備消防の広域化

県では、消防組織法の改正を受けて消防広域化を検討しており、但馬地域の4つの消防本部の一つにする素案が示されました。但馬の他市町は

素案に賛成でしたが、本市では、①広大で山がちな但馬地域では広域化の具体的メリットがあまりない②首長は防災トップとして総合的な責任を負っており、市職員や消防関係機関に対する指揮命令系統が首長の下に一元化されていることが大切である、などから、消防広域化に賛成できない旨を伝えました。

北但広域療育センター整備

北但1市2町で整備を進めている療育施設の愛称を、優しい風をイメージして「風」としました。9月27日に竣工式を行い、10月1日から開設し、総合的な障害児(者)療育の推進を図ります。

また、指定管理者の社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団が、施設内に障害児(者)を対象とした診療所を平成21年4月に開設する予定で、障害児を専門に診る小児科医師と精神科医師が勤務される予定です。

人と自然が共生するまち

コウノトリの

野生復帰の推進

野外で生まれた10羽のヒナが無事に巣立ち、幼鳥が遠くは長崎県にも訪れるなど、明

るい話題を振りまいています。ハチゴロウの戸島湿地については、湿地内人工巣塔のヒナの巣立ちを待つ本格的な工事に着工したことから、全体の工期が予定よりずれ込む見込みです。しかし、冬鳥の飛来時期や城崎温泉を中心とするカニシーズンの来客を考慮し、部分的なオープンを含め、供用開始の時期を検討します。今期議会には指定管理料に関する補正予算を提出し、指定管理者の指定議案については次期定例会に提出したいと考えています。

ラムサール条約湿地登録

ハチゴロウの戸島湿地を核とした円山川下流域を中心とするエリアを対象に、国際的に重要な湿地としてラムサール条約への湿地登録を目指しています。本年、韓国で開催される第10回ラムサール条約締約国会議(COP10)の関連事業「子どもラムサール会議」に市内小学校の児童を派遣し、コウノトリに関する取り組みを発表します。また、私も参加し、円山川下流域を条約登録できるようにプレゼンテーションを計画しています。

山陰海岸ジオパーク

山陰海岸一帯は、日本列島が約2,500万年前に地殻変動と火山活動により大陸から離れたころの痕跡が見られる大変貴重な地域でもあり、逆転磁場という地球科学史上重要な現象が世界で初めて発見された玄武洞や約2万年前の神鍋山の火山活動の痕跡等、ジオパークにふさわしい素材を有しています。

そこで、東は京丹後市から西は鳥取市までの関係市町と3府県、関係団体で「山陰海岸ジオパーク推進協議会」を設立し、世界ジオパークネットワークの認定を受けるため、7月に日本ジオパーク委員会へ認定申請を行いました。現在、審査が行われており、10月末には日本から世界ジオパークネットワークに申請する地域が決定する予定です。ジオパークの認定を受けると、世界的知名度が高まり、観光地としての付加価値が高

まるものと期待しています。○兵庫県大型観光交流 キャンペーン

高めるまち

来年開催されるキャンペーンに向けて、東京、広島市および福岡市の旅行代理店を訪問し、本市の旅行商品化に向けてお願いしてきました。今後、ガイドブックが作成され、全国キャンペーンが実施されますが、引き続き積極的にピーアールしていきます。

国道178号の豪雨時の交通確保対策

国道178号、福田の卸売市場付近は、豪雨時に道路が冠水して通行できなくなるこ

とがあり、その改善が長年の懸案となっています。現在、県において道路を嵩上げするために、ボーリング調査と設計が進められています。

JR豊岡駅前広場整備事業

当初は、本年度から着手し、平成24年度完成予定としていましたが、国・県の指導を受けて、平成23年度の完成を目指すこととしました。8月19日には、事業認可および補助金の交付決定を受けましたので、土地の追加取得の補正予算を提出しています。

○市営バス事業

全但バス(株)の路線休止対応として、10月から市がバス事業を行うこととし、過日、事業を委託する優先交渉事業者を選定し、現在、運行に向けて準備を進めています。また、この市営バス事業を市民の皆さんから愛されるものとするため、愛称を「enacar」としました。

■未来を拓く人を育むまち

○学校施設整備計画の推進

豊岡北中学校教室棟の耐震補強等の工事については、夏休み期間中に大部分の工事を終え、仕上げ工程に入っています。

なお、頻発している国内外の大地震を契機に、地震防災特別措置法が改正され、倒壊等の危険度が高い建物についての補助率嵩上げ等や耐震工事と同時に改修工事の補助対象範囲が拡大されました。これらの改正を踏まえ、市としても、危険性が高い建物から早期に整備を進めることとし、五荘小学校と日高小学校の耐震診断についても本年度に前倒して行い、児童・生徒の安全確保に努めます。

■人生を楽しみお互いを支え合うまち

○日高総合支所庁舎 改修整備事業

日高総合支所庁舎を地域コミュニティの拠点と庁舎機能を持つ施設とするため、1階に支所機能、2階に図書館日高分館、3階に子育てセンターを拡充する改修計画を進めていきましたが、耐震強度の不足が判明しましたので、再検討し、1階に図書館日高分館を配置、支所機能を1階と2階に分散し、合わせて耐力確保を図る補強工事を実施することに変更しました。現在実施設計を行っています。

■市政の運営

○(有)但東クリンセンターの第三セクター方式の解消

(有)但東クリンセンターから、臨時株主総会を経て、市の出資金全額の返還を受けました。これにより、第三セクター方式は解消され、完全民営化されたところです。

○過払い金の取立て訴訟

市税滞納者が消費者金融業者から借入れをしている債務について、支払い義務のないグレーゾーン金利分で過払い

金が発生しています。市では、本年1月に過払い金の不当利得返還請求権を差し押さえ、消費者金融業者に返還請求を行っているのですが、支払いに応じないため、取立て訴訟を提起しようとするものです。

○原油等価格高騰対策

原油価格高騰が市民生活を圧迫し、特に燃料コストが多額を占める分野や中小企業などに深刻な打撃を与えています。市では、緊急特別対策として、①工事請負契約における単品スライド条項の適用②現行の短期および長期の中小企業融資制度の利子補給③畜産業では家畜飼料特別支援資金の利子補給、漁業では経営

資金の利子補給と本年度に限った漁獲共済加入促進の補助率アップを実施します。

○行政改革

現在、平成18年度から21年度までを推進期間とした行革に取り組んでいます。中でも事務事業評価は、本年度初めて導入するもので、1、792にまとめたすべての事務事業について、担当課で1次評価を行い、一部の事務事業は外部評価を実施し、2次評

価を経て、評価作業を終えました。評価の結果は公表し、今後の予算編成等に活かしていきます。

また、さらなる行革措置を追加することとし、人件費では、臨時職員数の削減および正規職員数と時間外勤務手当のさらなる抑制を行い、平成21年度から26年度までの6年間に約5億8千万円の削減の上乗せを図ります。なお、職員提案による年間約2千万円の削減も見込んでいます。

○都市計画税のあり方の見直し

見直しのための「市税条例の一部を改正する条例制定」議案は継続審査となっています。

市議会において、市民の皆さんに見直しによる受益をより感じていただける予算の特別枠の確保について示唆をいただきました。そこで、都市計画税の廃止に伴う超過課税による財源確保が認められた場合には、市民の皆さんから特に要望が多く、緊急性が高い、鳥獣被害防止緊急対策事業と生活道路排水路等整備緊急対策事業を実施したいと考えています。

○財政健全化判断比率等

地方自治体の財政破綻を未然に防止する地方公共団体の財政の健全化に関する法律が公布され、自治体は、各財政健全化比率と公営企業会計に係る資金不足比率を議会に報告し、公表することが義務付けられました。

また、平成20年度決算からは、指標が早期健全化基準以上となると、「早期健全化団体」となり、財政再生基準以上となると、国の管理下で財政再建を図る「再生団体」となります。平成19年度決算は、いずれの比率も早期健全化基準未満でした。

○市土地開発公社保有地の買戻し

自治体財政健全化法により、公社の負債額も指標に反映されることとなり、公社保有地の整理がより必要となつていきますので、公社が保有するJ R豊岡駅前広場整備事業用地と公社の長期保有資産の一部用地を買い戻すための補正予算を提出しています。買戻しにより、公社は、民間金融機関からの借入金半分以上の繰上償還を予定しています。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。